

## 【知識及び技能】の二側面の名称について

- 「知識及び技能」については、下記の二側面で整理することを示したが、それぞれの名称について様々な御意見をいただいた。

- ①運用しながら深める側面（各領域の学習の過程で生かし深める）
- ②教養として深める側面（各領域の学習を支え文化的な知識や態度、教養として深める）

## 【第11回WGでの主な御意見】

## ①運用しながら深める側面について

- 具体的で分かりやすい。

## ②教養として深める側面について

- 「教養」という表現は、教養のために学ぶという誤解を招く可能性がある。読書や書写が教養目的に限定されるようにも見える。小学校段階には馴染みにくい。
  - 「教養」という表現が、静的に受け取られる可能性がある。暗記重視に受け取られないよう注意が必要。
  - やや孤立感があるので、領域との関係が見える表現に改善できないか。
- （提案）意義や価値を理解しながら深める側面／領域の学びを支えながら深める側面
- 「教養」という表現は、リベラルアーツに近い発想として一定の妥当性がある。
  - 「教養」は、歴史や文化の中で蓄積されてきた知を、個人の価値観や人間性と結び付けながら生活や社会の中で生かしていく営みを含む概念であり、文化的ニュアンスも含むので妥当。
  - 「素養」という表現も考えられるが、幅広い文化的知識とそれに基づく品位という意味合いを踏まえると、「教養」の方がより適切ではないか。

## その他（①②共通事項を含む）

- 機能的リテラシーと文化的リテラシーの対比として「運用」「教養」と整理されており、妥当。
- 深めるだけでなく、広げる、高めるといった側面もあるため、「深める」よりも、「充実させる」の方がよいのではないか。
- 知識・技能が思考・判断・表現を支えるものとして伝わりにくい。意図を伝えるための説明の工夫が必要。
- 「運用」「教養」という言葉そのものにこだわるよりも、説明の仕方を工夫することが重要。

- ①の側面の名称については概ね賛同いただいた一方、②の側面の名称については、様々な観点から意見があった。また、名称にこだわるよりも意図を伝えるための説明の工夫が必要であるという意見もあったところである。
- これらを踏まえ、両者の異なりを端的に示すことで、それぞれの役割の違いを現場に分かりやすく伝えるという観点からも、名称は第11回WGで示したとおりの案とすることしつつ、特に意義や価値と結び付けずに機械的に覚えこませるような指導にならないように留意する等、告示文や解説等でその趣旨を明記することとしてはどうか。

## 「見方・考え方」について

- 「見方・考え方」は、第5回WGまでの議論を踏まえ下記のとおりとすることとして示したが、一部の委員から修正の必要性があるのではないかと御意見をいただいた。

## 【見方・考え方】

自分や他者の言葉を、意味や働き、使い方や表現の意図に着目して多面的・多角的に吟味し、多様な立場や考えを理解して、丁寧に言葉を選び、よりよく伝え合うこと

## 【第11回WGでの主な御意見等】

- 「自分や他者の言葉」を対象とすると、言葉だけを言葉を使って捉えるという、メタ的な学習に限定される印象を与えてしまう懸念がある。国語で扱う対象は、本来、日常生活や社会生活の様々な事象であり、それら理解するために言葉に着目するのがまさに国語科の見方・考え方なのではないか。
- 対象を言葉だけに限定しない方がよい。例えば、説明的文章を読む場合に、理解する対象は文章で述べられている筆者の主張や社会的事象であり、言葉はそれを捉えるための手掛かりである。
- 国語科は、対象を言葉を通して捉えるという教科横断的な側面をもちつつ、その捉え方や伝え方などを支える言葉の働きや運用を吟味するところに、教科固有の学びがある。そのため、対象を言葉で捉えることと、言葉そのものを吟味することの二つの水準を、どちらか一方に偏らず整理する必要がある。
- 対象を「自分や他者の言葉」とするよりも、「事象」の方が適切ではないか。
- 見方・考え方の趣旨が伝わるよう、対象や思考の流れを明確にし、長い一文でまとめる表現を見直すべき（事務局からの補足）
- 他教科では、「社会的事象」や「事象や言説」などを対象として示している例もある。他教科等での検討状況を踏まえて、改めて示し方を検討することも重要。

- 国語科の学びの二つの水準を踏まえ、端的に示す観点から、国語科における「見方・考え方」については、以下のとおりとしてはどうか。

## 【見方・考え方】（修正案）

**様々な事象を表す言葉を、その意味や働き、使い方に着目して吟味し、多様な立場や考えを理解して、よりよく伝え合おうとすること**

※なお、他教科等の「見方・考え方」も参考にしつつ、端的に示す観点から、

- ✓ 「吟味」には多面的・多角的に捉えること、「よりよく伝え合うこと」には丁寧に言葉を選ぶことが含まれていることから、「見方・考え方」には記載せず、その趣旨を丁寧に学習指導要領の解説で説明する。
- ✓ また、対象については、自分や他者の内面の思考や感情等も対象とし得る国語科の特質を踏まれば「様々な事象や自他の心情、考え」とすべきところだが、同様に詳細は学習指導要領の解説で説明する。
- ✓ 「その意味や働き、使い方」という順については、児童生徒が言葉を理解する上で一般的に考えられる順序性を示したものであり、現行指導要領の解説の記載と同様としている。

# 見方・考え方一覧（素案）

- ※各ワーキンググループにおいて検討中のたたき台であり、今後変更の可能性がありうる
- ※各ワーキンググループにおける議論を踏まえ、第14回教育課程企画特別部会（令和 8 年 2 月 2 日）時点より表現を変更・加筆した箇所を黄色マーカー、記載を簡略化した箇所を青色マーカーにて示す  
（表の煩雑化を避けるため具体的な変更履歴の表示は割愛）

# 見方・考え方一覧（素案）（1 / 3）

## 見方・考え方

|            |                  |                                                                                                                                                                    |
|------------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語         |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分や他者の言葉を、意味や働き、使い方や表現の意図に着目して多面的・多角的に吟味し、多様な立場や考えを理解して、丁寧に言葉を選び、よりよく伝え合うこと</li> </ul>                                      |
| 外国語活動・外国語  |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>外国語及び外国語によるコミュニケーションを文化の違いや社会及び相手との関わりに着目して捉え、他者の考えを受け止めるとともに、表現等を工夫して自分の考え等を発信し、多様な他者との相互理解を図ること</li> </ul>                |
| 社会（小学校）    |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象やその言説を、地域の空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること</li> </ul>                       |
| 社会（中学校）    | 地理               | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象やその言説を、地域の空間的な広がり、地域の環境、地域間の関係などに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること</li> </ul>                          |
| 地理歴史（高等学校） | 地理総合・地理探究        |                                                                                                                                                                    |
| 社会（中学校）    | 歴史               | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象やその言説を、時系列、推移、類似や差異、因果関係や現在とのつながりなどに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること</li> </ul>                       |
| 地理歴史（高等学校） | 歴史総合・日本史探究・世界史探究 |                                                                                                                                                                    |
| 社会（中学校）    | 公民               | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象やその言説を、政治、法、経済などに関わる概念や理論などに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること</li> </ul>                               |
| 公民（高等学校）   |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象やその言説を、倫理、政治、法、経済などに関わる概念や理論などに着目して捉え、人間としての在り方生き方についての自覚を深めることや、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること</li> </ul> |
| 算数・数学      |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>事象や言説を数理の視点から捉え、論理的、統合的・発展的、批判的に考察すること</li> </ul>                                                                           |
| 理科         |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自然や社会の事象・言説を、自然科学的な視点から捉え、観察・実験の結果や科学的知見などに基づいて、客観的、論理的、批判的に考察すること</li> </ul>                                               |
| 体育・保健体育    | 体育               | <ul style="list-style-type: none"> <li>運動やスポーツを、心身の充実に果たす役割や多様な楽しみ方の視点から捉え、自他の豊かな生活及び活力あふれる社会づくりにつなげること</li> </ul>                                                 |
|            | 保健               | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健に関する課題や情報を、健康や安全に関する概念やそれに関わる原則に着目して捉え、リスクの軽減や生活の質の向上、及び健康・安全を支える環境づくりにつなげること</li> </ul>                                  |

※総則・評価部会で示した見方・考え方の記載例

●●（当該教科で扱う事象や対象）を●●（当該教科固有の物事を捉える視点）の視点から捉え、●●（当該教科固有の考え方や判断の仕方）すること。

## 見方・考え方一覧（素案）（2/3）

### 見方・考え方

|              |           |                                                                                                                                                     |
|--------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 音楽（小学校、中学校）  |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>感性や想像力を働かせ、対象や事象を、音や音楽、文化などの視点で捉え、意味や価値を見いだすこと</li> </ul>                                                    |
| 芸術（高等学校）     | 音楽        |                                                                                                                                                     |
| 図画工作（小学校）    |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的、文化的な視点で捉え、意味や価値をつくりだすこと</li> </ul>                                                     |
| 美術（中学校）      |           |                                                                                                                                                     |
| 芸術（高等学校）     | 美術・<br>工芸 |                                                                                                                                                     |
| 芸術（高等学校）     |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>感性や想像力を働かせ、対象や事象を、美を構成する要素とその働き、文化などの視点で捉え、芸術の意味や価値を追求すること</li> </ul>                                        |
| 芸術（高等学校）     | 書道        | <ul style="list-style-type: none"> <li>感性を働かせ、文字や書を、書の美を構成する要素とその働き、伝統と文化などの視点で捉え、意味や価値を追求すること</li> </ul>                                           |
| 家庭           |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族の生活の営みを、地域や社会との関わりの中で持続的なものとする視点から多角的に捉え、主体的によりよい生活を創り出すこと</li> </ul>                                   |
| 生活           |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人々、社会及び自然を自分との関わりや他者との関係の中で捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする事</li> </ul>                                        |
| 情報・技術        |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会の問題を、技術的視点で正負の両面を含め多角的に捉え、包摂的で豊かな生活や社会の実現に向けて、情報や技術を適切に活用したり、新たな価値を創造したりすること</li> </ul>                 |
| 情報（高等学校）     |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>事象を、情報とその結び付きの視点で正負の両面を含め多角的に捉え、包摂的で豊かな生活や社会の実現に向けて、情報技術を適切に活用し、問題を発見・解決したり、新たな価値を創造したりすること</li> </ul>       |
| 理数           |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>事象や社会の課題、言説を、数理的・科学的な視点から捉え、論理的、統合的、批判的に考察すること</li> </ul>                                                    |
| 総合的な学習・探究の時間 |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>実社会・実生活との関わりの中で見いだす興味・関心や問題意識に基づく課題を、横断的・総合的な視点から捉え、新たな価値を創造し、自分らしい生き方を問い続けること</li> </ul>                    |
| 特別活動         |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の生活や身近な社会における課題を社会創造、自己実現及びそれらの基盤としての人間関係形成の視点から捉え、社会を形成する当事者として多様な他者と協働し、自他のよりよい人生や社会生活につなげる事。</li> </ul> |

# 見方・考え方一覧（素案）（3 / 3）

## 見方・考え方

|               |                                                                                                                  |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 知的障害特別支援学校 生活 | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会及び自然などの対象を自分との関わりの視点から捉え、自分自身や自分の生活について考えること</li> </ul>                 |
| 知的障害特別支援学校 職業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>職業に係る事象を、職業分野で扱う内容と将来の生活や生き方をつなげて考え、よりよい職業生活や社会生活を営むための工夫を行うこと</li> </ul> |

|      |          |                                                                                                                                       |
|------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 産業教育 | 職業に関する教科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>社会や産業に関する事象を、職業に関する各教科の本質に根差した視点で捉え、職業人としての自己の成長と、社会や産業の発展につなげること</li> </ul>                   |
|      | 農業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>農業や農業関連産業に関する事象を、生産・環境・資源の統合的な視点で捉え、職業人としての自己の成長と、農業や農業関連産業の持続的な発展につなげること</li> </ul>           |
|      | 工業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>工業に関する事象を、よりよいものづくりを創出する視点で捉え、職業人としての自己の成長と、社会の発展につなげること</li> </ul>                            |
|      | 商業       | <ul style="list-style-type: none"> <li>企業活動に関する事象を、利益の追求と社会的責任の視点で捉え、職業人としての自己の成長と、ビジネスの持続的な発展につなげること</li> </ul>                      |
|      | 水産       | <ul style="list-style-type: none"> <li>水産や海洋に関する事象を、海洋資源を持続的に利用する視点で捉え、職業人としての自己の成長と、水産業及び海洋関連産業の持続的な発展につなげること</li> </ul>             |
|      | 家庭       | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活産業に関する事象を、生活の質の向上の視点で捉え、職業人としての自己の成長と、生活産業の発展につなげること</li> </ul>                              |
|      | 看護       | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康に関する事象を、回復の過程を支える視点で捉え、職業人としての自己の成長と、保健・医療・福祉の発展につなげること</li> </ul>                           |
|      | 情報       | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報に関する事象を、情報の構造と働きに着目して、課題解決や価値創造の視点で捉え、職業人としての自己の成長と、情報及び情報技術を活用したよりよい社会の実現につなげること</li> </ul> |
|      | 福祉       | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活に関する事象を、人間の尊厳と自立の視点で捉え、職業人としての自己の成長と、地域福祉の推進につなげること</li> </ul>                               |